

MMMT: Monday Morning Manabi Time!



LEARN WELL

株式会社 ラーンウェル

MMMT: Monday Morning Manabi Time!

1. オープニング(導入)
2. ボディ(本論)
 - ・研修転移
 - ・研修評価
 - ・OJT 等
3. クロージング(結び)

- 1) プラトン、ロックによる形式陶冶説
- 2) ソーンダイク(1901)による転移研究
- 3) フレイシュマン(1953)による企業における研修転移研究

「転移」とは

「転移」という言葉を、Googleで検索すると、約 16,200,000 件の記事が表示され、そのトップページに来るのは「**がんの転移**」です。医学において、転移とは「腫瘍細胞が原発病変とは違う場所に到達し、そこで再び増殖し、同一種類の腫瘍を二次的に生じること」と定義されます。ただし、医学における「転移」は、ギリシャ語から英語になった「**Metastasis**」を和訳したものです。

同じように、別の英語が、「転移」と訳されているのが、**臨床心理学におけるフロイトの「Transference**」です。この場合の「転移」は、「過去の精神的な体験のすべては、医師という人間との現実的な関係として、ふたたび活動しはじめる」(Freud1905)ことを指します。過去の親子関係を、現在の医師やカウンセラーとの関係に、投影してしまうような状況のことです。

更に最近では、**人工知能・機械学習の領域でも「転移」**(この場合の英語は、Transfer)という言葉が使われるようになっていきます。

このように「転移」という言葉は、複数の研究領域で使われているのですが、本稿では、企業研修に関係が深い「**心理学・教育学**」における「**転移 Transfer**」に絞り、そのルーツ(源流)を辿ります。

「転移」の定義

心理学・教育学の領域において「転移」ほど定義が多様で、結果の出方も安定しない構成概念も珍しいと言われています。いくつかの定義を取り上げます。

- ・転移とは、ある状況で獲得した知識が、後の状況での問題解決や学習につながる現象を指す(白水2012)
- ・転移(Transfer)とは学習した事柄を、それを学習した文脈とは異なる文脈で利用することを指す(鈴木2000)
- ・学習の領域で用いられる転移(Transfer of learning)とは、前に学習したことがその後の学習に影響を及ぼすことをいう(西田1999)
- ・ある一つのことの学習が、別のことを学習するのに役立つこと (Hilgard & Bower 1966)

これらの定義を基に、転移をあえて簡略化した図式で表現するならば、「○→○」と言えます*。

「研修転移 Transfer of Training」とは、

研修で学んだことが、
仕事の現場で一般化（Generalization）され役立てられ
かつその効果が持続（Maintenance）されること。

（中原他2018）

「転移」の定義

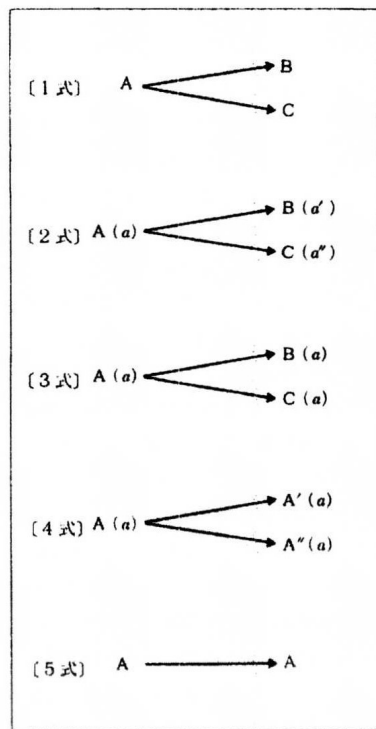
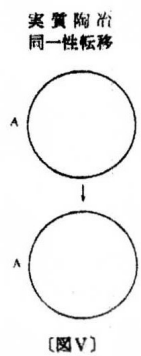
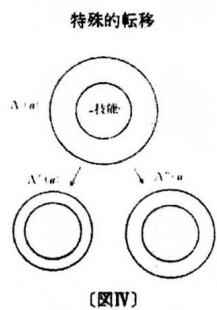
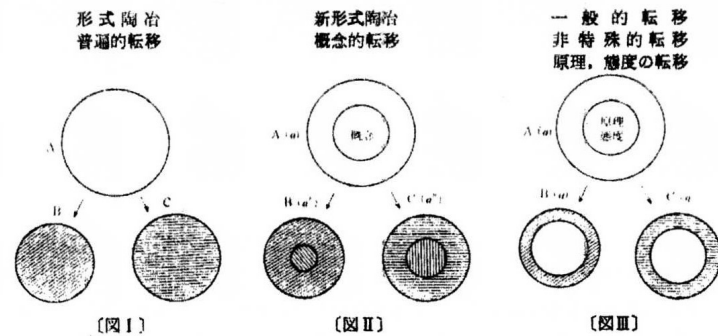
心理学・教育学の領域において「転移」ほど定義が多様で、結果の出方も安定しない構成概念も珍しいと言われています。いくつかの定義を取り上げます。

- ・転移とは、ある状況で獲得した知識が、後の状況での問題解決や学習につながる現象を指す（白水2012）
- ・転移(Transfer)とは学習した事柄を、それを学習した文脈とは異なる文脈で利用することを指す（鈴木2000）
- ・学習の領域で用いられる転移(Transfer of learning)とは、前に学習したことがその後の学習に影響を及ぼすことをいう（西田1999）
- ・ある一つのことの学習が、別のことを学習するのに役立つこと（Hilgard & Bower 1966）

これらの定義を基に、転移をあえて簡略化した図式で表現するならば、「○→○」と言えます*。

「転移の間の関連性」

M M M T



佐藤(1979)は、5段階に分けて、
転移の間の関連性を図式化しました。

(佐藤三郎(1979)教育方法
吉田・長尾・柴田編 有斐閣双書.)

「転移」のルーツ(1) ソーンダイク(1901)

この「 $O \rightarrow O$ 」という転移が、実際に起こっているのかという認知研究を、最初に行ったのが、Thorndikeソーンダイク(1901)です。つまり、**転移研究のルーツは、ソーンダイク(1901)にある**と言えます*。

ソーンダイクは、共同研究者のWoodworthと共に実験室で、四角形や三角形を使った実験を行い、その結果から、同じ要素が含まれていれば、転移は生ずるが、そうでなければ転移は生じないと結論づけました。「**同一要素説 theory of identical elements**」と呼ばれる考え方です。

当時のソーンダイクの「仮想敵」は「形式陶冶説」でした。彼は「**形式陶冶説**」には**科学的根拠がない**ことを実証するために、上記実験を行ったのです。では、彼が批判したかった「形式陶冶説」とは何なのでしょう？

*転移のレビュー研究の多くが、1901年のソーンダイクの研究からレビューをしています。(例: Badwin & Ford, 1988; Detterman, 1993) その観点からも、ソーンダイク(1901)を、転移研究のルーツに置くのは過ちではないと考えられます。

- 1) プラトン、ロックによる形式陶冶説
- 2) ソーンダイク(1901)による転移研究
- 3) フレイシュマン(1953)による企業における研修転移研究

MMMT: Monday Morning Manabi Time!

1. オープニング(導入)
2. ボディ(本論)
 - ・研修転移
 - ・研修評価
 - ・OJT 等
3. クロージング(結び)

MMMT: Monday Morning Manabi Time!



LEARN WELL

株式会社 ラーンウェル